

Case Study

支部ケース・スタディ

南関東支部

コロナ禍で中止になった盆踊り大会を オンラインで開催「Ooedo Happy Festival」

東京ベイネットワーク(株)

放送制作部 部長

中島 紀志



東京ベイネットワーク(株)は「江東ケーブルテレビ」として1993年に、深川や亀戸といった下町情緒あふれる東京都江東区をエリアとして開局しました。その後、銀座や日本橋など、江戸以来日本の中心として栄えている中央区にエリアを拡大、2017年からはTOKAI グループの系列局として現在に至っており、弊社コミュニティチャンネル「Channel Bay」では江東区、中央区の広報番組を中心に、江戸三大祭りのひとつ「深川八幡祭り」の生中継やまち歩き番組などの放送を行っています。

コロナ禍で、街のお祭りやイベントが相次いで中止

2020年から急激に拡大した新型コロナウイルス感染症による影響は全国各地のケーブルテレビ局の皆さまとも同様、当社コミュニティチャンネル「Channel Bay」の放送にも大きな影響を受けました。まちの話題をお伝えする「Channel Bay Topics」もエリア内各地のイベント休止により放送枠を縮小。まち歩き番組「Channel Bay情報局」についても内容の大幅な変更を余儀なくされました。中でも大きな影響を受けたのは2020年に予定されていた「お祭り」の中止です。53基の御神輿が江東区・中央区を連なって練り歩く「深川八幡祭り神輿連合渡御」はもちろんのこと、2020年に予定されていたすべてのお祭りが中止、江東区・中央区では多くの町会で行われている夏の盆踊り大会も中止と、地域の皆さんとChannel Bayの接点が失われつつありました。

「一夏に放送するコンテンツが無い」、過去のお祭りの再放送などで一時的にはしのげたとしても、です。そのような状態の中、動画投稿による盆踊り大会開催を模索しだしたのが、2020年5月下旬のことです。

少し話はさかのぼりますが、東京ベイネットワークでは動画投稿による番組制作を2000年代から行っていました。区内商店街からの投稿動画による「ウキウキ商店街」、エリア内中学校に小型カメラを貸し出し部活動の様子を撮影してもらい放送する「部活日誌」など、都心のケーブルテレビ局としてどうしても拾いきれない地域情報を、区民の皆さんから提供していただく取り組みを行っています。また、中央区役所の生涯学習講座に東京ベイネットワークが協力して開催した「区民メディアリポーター」養成講座の卒業生による制作番組「中央区発こちらみんなの情報局」を約10年に渡って放送しています。



53基の御神輿が練り歩く「深川八幡祭り」



2020年夏、区民の動画投稿による分踊り大会を開催

そうした区民参加の番組を放送していたことから発想を得て、コロナ禍によるリモートでの活動が進む中、区民投稿での盆踊り大会が番組企画のテーブルに上がったのですが、実現までのハードルはかなり高いこと

は想定できていました。開催まで期間が無い中、盆踊り動画の募集方法をどのようにするのか、地域との連携方法、などなど、どこから手を付けるべきか途方に暮れていたところ、東京青年会議所中央区委員会から「地域と連携した盆踊り大会の開催に協力いただけませんか？」と、連絡が入ったのです。

「Ooedo Happy Festival 2020 実行委員会」外川委員長のお話

東京ベイネットワークに協力を依頼した理由について

「東京ベイネットワーク様とは、毎年のわんぱく相撲中央区大会や選挙の公開討論会などで関係を持たせていただいております。2020年は新型コロナウイルス感染症の流行した年で、わんぱく相撲中央区大会をはじめ、様々な町の行事についても中止が余儀なくされ、ついには8月に予定されていた中央区の象徴する行事『大江戸まつり盆踊り大会』も中止となりました。相次ぐ町の行事の自粛で、子供たちにとって、お友達や地域と繋がりが薄くなってしまっていると考え、人が集まる行事が中止になってしまう時期に、在宅で体験できる盆踊りの企画を有志で考えたのです。そこで相談したのが地域メディアの東京ベイネットワーク様でした。」

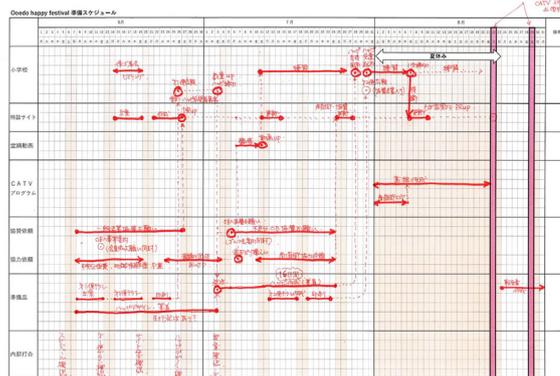


東京青年会議所中央区委員会からの申し出は、私たちにとって渡りに船でした。行政や地域団体とのつながりはあるものの、これから当社のみで動画を募集するにはあまりにも時間が無い。そのような状況の中、私たちは番組制作に注力、東京青年会議所中央区委員会の皆さんがハブとなって、行政や商店街、地域団体との調整を行っていただき、学校を通じて動画を募集するという役割分担をすることで番組制作を進行。6月に企画検討、7月に盆踊り動画の募集や、番組内で放送する中央区内の商店街情報、盆踊りの練習動画の撮影、8月16日に番組収録、そして8月22日に放送と、あわただしいスケジュールで、交渉の途中で実現出来なかった企画がありながらも、着実に制作を進めていき、収録本番を迎えました。

番組の構成は右下表の通りです。生放送を想定していましたが、動画の募集期間を編集可能日ギリギリまで延ばせるよう収録番組に変更。東京音頭やダンシングヒーローの盆踊り動画を放送しながら、リモートで、投稿された方とスタジオをつないでインタビューをするなど、コロナ禍での新しいライフスタイルを意識した番組内容になりました。

いただいた動画の総数はおよそ100本。こちらの動画を一緒になって踊っているように感じていただくため、マルチ画面で編集を施しました。(番組全編は <https://youtu.be/tyReshmKlKQ> をご覧ください)

参加者からの感想は上々。「実際に盆踊りで仲が深まった」「近所のお店が映ると子供たちが喜んでいた」といった意見をいただき、コロナ禍が拡大していく中、希薄になる一方だった地域コミュニティについて、少しだけだったかもしれませんが繋ぎとめることができた番組だったと考えています。



準備スケジュール

当日放送企画について

★…東京ベイネットワーク様 ●…JC

企画	出演依頼	取材	編集	
盆踊りハイライト	●	—	★	インスタに上がった盆踊りのハイライト放送
商店街PR	●	▲	★	各商店街のPR動画
盆踊り大会	●	▲	★	盆踊りの先生がでる盆踊り大会
CG花火	—	—	★	
その他企画				

役割分担

	映像	内容
60分番組	OP VTR	
	スタジオ	オープニングトーク・番組概要説明
	VTR	振り付け動画紹介「東京音頭」
	スタジオ	「スタジオで踊ってみた！(東京音頭)」
	VTR	商店街PR①(2・3商店街)
	スタジオ	商店街イチオシのテイクアウトグルメを紹介
	VTR	盆踊りハイライト①「東京音頭」
	スタジオ	
	VTR	振り付け動画紹介「東京五輪音頭」
	スタジオ	「スタジオで踊ってみた！(東京五輪音頭)」
	VTR	商店街PR②(2・3商店街)
	スタジオ	商店街イチオシのテイクアウトグルメを紹介②
	VTR	盆踊りハイライト②「東京五輪音頭」
	スタジオ	
	VTR	盆踊り大会(踊りの先生方による盆踊り大会)
	スタジオ	各賞発表(JC賞・TBN賞・グランプリ?) →エンディング
エンドVTR	スクワイリーの特別ライティング「花火」を流す	

番組の構成



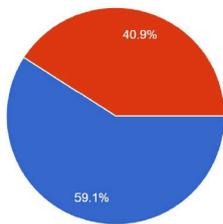
リモートによるインタビューの様子



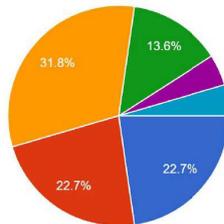
マルチ画面によるオンライン盆踊り

地域課題の解決とコミュニティチャンネル

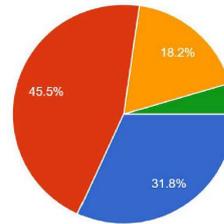
「Ooedo Happy Festival」は、東京青年会議所中央区委員会と協働で本格的に制作する初めての番組でしたが、制作のプロセスや地域とのかかわり方について、あらためて意識することができたことが、私たちの収穫だと思っています。「Ooedo Happy Festival」はその後2021年、2022年と3年連続で当社と東京青年会議所中央区委員会で開催するイベントとなりましたが、毎年キックオフ前に「参加者の総数を増やすためには」「放送後のアンケートの回収数を増やすには」「参加者が一番投稿しやすい方法は」「さらなる告知先」等々、前回の反省を踏まえ番組がさらに進化するような仕掛けを提案いただいていた、あたり前のことですが、番組制作でもPDCAをしっかりと廻していくことが大切だと再認識いたしました。



- 盆踊りを踊って、SNSで投稿またはLineで動画を送付した
- 動画は投稿・送付はしていないが、家族や友人、も...



- 投稿しやすかったため、実際に投稿しづらかったが、実際に投稿...
- 投稿しようかと思ったが、投稿し...
- 投稿しづらかったため、Lineで動画...
- 投稿しやすかったため、実際に投稿...
- 投稿しようかと思ったが、投稿し...



- 「東京ベイネットワーク」のケーブルテレビ放送で観た
- YouTube Liveで観た
- 観ていないが再放送を観るつもりだ
- 観なかったし、今後も観る予定はない

放送後のアンケート結果

その後、いただいた提案を元に2021年は投稿動画本数が134本に増加、そして今年は3年ぶりに開催された「中央区大江戸まつり盆踊り大会」リアル会場での生中継と、「Ooedo Happy Festival」は形を変えながら進化しています。東京青年会議所中央区委員会との協働も「Ooedo Happy Festival」に限らず、昨年度から子宮頸がんワクチン普及に関する番組の制作、配信、放送についても実施しているところ です。

地域メディアであるケーブルテレビ局のコミュニティチャンネルは「地域の課題を解決することが存在意義」と、いろいろなところで言われていると思います。私たちもその考えのもとに日々さまざまな番組の制作活動を行っているところですが、地域の人たちが表現したいこと、地域の人たちに伝えたいことの制作のお手伝いをし、コミュニティチャンネルを使っていただく。そのことがネットメディアとの差別化を図り、都心の東京都江東区、中央区のコミュニティチャンネル「Channel Bay」が地域で存在感を示す一つの方法だと考え、今後もまちの皆さまと一緒に番組を制作していきたいと考えています。



3年ぶりに今年リアル開催され、生中継された「中央区大江戸まつり盆踊り大会」